

かんきょう再生ニュース



この情報はインターネットより、資料として収集致しました。各々マスコミ各社の著作権が有ります。大量に印刷する等は、ご連絡願います。誌友会等の環境問題に関する参考となれば幸いです。



《東京第一教区》 <http://homepage3.nifty.com/souaika-i-tokyo/> 《教育110番》 <http://tokyo.cool.ne.jp/nisankatanso/saku.htm> 《父親教室/お父さん頑張って》 <http://homepage2.nifty.com/6789/index.htm>

相愛会環境問題編集部

平成17年6月1日発行 第00号

《エネ》日中両政府は30 3両日、東シナ海のガス田開発をめくり局長級協議を北京で開く。日本側は、中国が現在進めている開発の中止とデータ提供を重ねて要求。中国側は今回、日中両国が共同開発するよう具体的な提案を行う可能性もあるが、双方の溝は深く協議は難航必至だ。

日本から小平信因資源エネルギー庁長官、外務省の佐々江賢一郎アジア大洋州局長、中国側は崔天凱・外務省アジア局長が出席する。

中国側はこれまでも共同開発の考えを示していたが、どの海域を対象とするかなど、具体案を示していなかった。今回はどこまで踏み込んで提案するかが焦点だ。

《エネ》

昨年6月に発売した「太陽族」の第2弾で同じく、太陽光のエネルギーを電気に換えてため込む方式。新機種の充電器は、縦8.2センチ、横5.7センチ、最大の厚さは2.4センチと大きさもさらにコンパクト化した。「蓄電状況が分からない」などユーザーの要望にも応え、発電量と蓄電量を表示するメーターをつけた。緊急時には、乾電池を装着しての充電も可能になった。蓄電時間は、約四時間以上。3時間の蓄電でも緊急時には「十分対応できる」という。コンセントを使った専用アダプターと電気出力、充電時間とも同等を確保した。価格は、4千円から5千円の間で調整中という。

同社は、2003年5月に日本証券業協会の未上場向け証券市場「グリーンシート」に県内第1号として登録した。技術開発部の虫明直文部長は今後の企業戦略として「公共用品を含めて、

民間市場にシフトできる技術は、デザインに改良を加え、確実な売り上げに結びつけたい」と話した。

《環境》京都府八幡市内の子どもたちが学校や地域をより良くするために議論したり調査研究をする「八幡市子ども会議」の本年度の第一回会議が29日、同市文化センターで開かれた。子どもたちは取り組みたいテーマを話し合ったりして、今後の活動に向けてスタートを切った。同会議は市教委による学校改革の一環で、2年目。将来の社会参加の土壌作りとして、市内の小学5年から高校3年までの児童生徒計37人が委員となり、子どもの目線や自由な発想で意見交換し、学校づくりやまちづくりに反映させるのが狙い。

《エネ》

ロシア・チェチェン武装勢力の最高実力者、シャミル・バサエフ野戦司令官は2日、モスクワで大停電を引き起こしたとする犯行声明を出した。この停電は、モスクワ南西部の変電所で24日夜、火災が発生し、同市南部や周辺への電力供給が停止。地下鉄など公共交通機関や水供給が止まり、約200万人が影響を受けた。ビクトル・フリステンコ産業エネルギー相は、テロの可能性はないと発言していた。大停電の原因がテロだったとしたら、プーチン政権の面目は大きく失墜し、責任を問われる立場となる。

《エネ》

2日、「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進などを祈願する「蓄熱祭」があり、業界関係者ら約300人が参加した。

このシステムは、空気の熱を利用してエネルギーを生み出すヒートポンプと、需要が減る夜

間電力を有効利用する蓄熱を合わせたもの。地球温暖化防止策の一環として、注目されているという。

蓄熱祭は、財団法人「ヒートポンプ・蓄熱センター」（東京都）が企画し、同神社で6年前から毎年行われ、この日は本殿前に「京都議定書目標達成祈願」などと書かれた3本の氷柱が供えられ、参列者は手を合わせていた。

《環境》

神奈川県松沢成文知事は31日、ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんが提唱する「MOTTA INAI（もったいない）運動」を取り入れたキャンペーンに取り組むと表明した。地球環境保全に、一人一人ができる100の取り組みを県民に参加を呼びかける。もったいない運動が政策として具体化するの初めて。

（毎日新聞）5月30日

《環境》

京都府宇治田原町でこのほど、府のレッドデータブックで準絶滅危ぐ種に指定されているヒダサンショウウオの幼生が入った卵囊（らんのお）が見つかった。同町内では2年前、幼生が確認されている。卵囊は長さ約10センチで、直径約20センチの石の底に約10房付着し、中に幼生が7～10匹ほどいたという。起彦君は昆虫図鑑などが好きで、えらを見てサンショウウオだと思い確認のために1房を持ち帰った。

（京都新聞）3月31日

地域の清掃に積極的に取り組み、美しい環境から若者の心に郷土愛を取り戻しましょう。語り合いましょう。

かんきょう再生ニュース



この情報はインターネットより、資料として収集致しました。各々マスコミ各社の著作権が有ります。大量に印刷する等は、ご連絡願います。誌友会等の環境問題に関する参考となれば幸いです。

環境問題とエネルギーを皆で考えよう

《東京第一教区》<http://homepage3.nifty.com/souaika-i-tokyo/>《教育110番》<http://tokyo.cool.ne.jp/nisankatanso/saku.htm>
《父親教室(お父さん頑張って)》<http://homepage2.nifty.com/6789/index.htm>

相愛会環境問題編集部

平成17年6月5日発行 第002号

《エネ》岩谷産業と関西電力は2日、液体水素方式による移動式水素供給ステーションを共同開発したと発表した。

液体水素を使うことで圧縮水素方式に比べ小型大容量化が図れる。

低コストと移動式の機能性を生かし、今後の燃料電池車など水素エネルギーの本格普及に向けて貢献を目指す。

機器を小型化し、ユニット全体を4トン級の車両で運搬できるようにした。

液体水素方式の定置式ステーションはあるが、移動可能なステーションの開発は初めて。

装置コストは定置式ステーション建設費(2億3億円)の5分の1以下になる見込み。

貯蔵密度が高い液体水素を使うため、小型でも水素供給量を増やせる。

既存の圧縮水素方式による移動ステーションは燃料電池車2台分程度の充てん容量しかないが、新装置は同15台分に充てんできる。燃料電池車の普及には水素供給ステーションの整備が欠かせず、本格普及前の過渡期対策として移動式ステーションを開発した。

《エネ》東邦ガスと名古屋大学は、燃料電池(FC)自動車の普及初期であっても、住宅用燃料電池が並行して普及し始めれば、1年間で現状に比べエネルギー使用量が最大14%、二酸化炭素(CO2)排出量が最大22%削減できるとの試算を明らかにした。

燃料水素をFC車向けだけでなく、住宅用にも供給することで、水素ステーションの有効利用につながるとして、水素供給インフラの構築につなげていく考えだ。このシミュレーションは

、同社と名大の小林敬幸助教授、鈴置保雄教授、森川高行教授らの研究グループが実施した。FC車は導入初期の台数が少なく、燃料となる水素を供給するステーションの効率的な運用は難しいことが予想される。

このため、FC車向け以外の需要として、住宅に純水素燃料電池を設置し、そこから電気や熱を供給するシステムを考案。

《エネ》ロシア、中国、インドの三カ国外相は二日、ロシア極東のウラジオストクで会談した。これら三カ国の外相会談が設定されたのは初めて。政治的影響力の保持に動くロシアは、豊富なエネルギーを武器に、アジアの二大国を巻き込んだ三カ国連合の創設をもくろむ。だが、反米的なおいが漂う新たな連携に、日本や米国からは警戒する声があがっている。

ロシア東方進出の拠点で、極東戦略の最先端基地ウラジオストクは、中国が強い関心を示すシベリアの石油、さらにインドが参画するサハリンの石油・天然ガス開発の中心に位置する。経済を軸にした「戦略トライアングル」の主導者となることを夢見るロシアにとって、ふさわしい晴れ舞台といえる。サハリンの資源をめぐり、中印と日本や韓国との競合も予想されるほか、「米国の一極支配に反発するアジアの三大国が、経済に次いで軍事面を含む政治的な提携を深めることは、アジアの新たな不安定要因になりかねない」との懸念が西側消息筋の間では出ている。

(産経新聞)

《環境》滋賀県草津市の国際湖沼環境委員会(ILEC)は4日、世界の湖沼が抱える課題や環境保全策を分析するプロジェ

クトの終了記念フォーラムを、同市の琵琶湖博物館で開いた。アジアやアフリカの各国から、深刻な水質汚染や外来魚の食害に関する対策が報告された。

プロジェクトは、ILECが2003年から実施し、28カ所の湖沼について、途上国を中心とする57カ国から提出されたレポートを基に、湖沼の開発と保全の在り方を検討してきた。

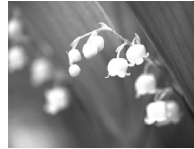
《環境》「緑化まつり」と「京都府低公害車フェア2005」が4日、京都府福知山市猪崎の三段池公園で始まった。ときおり雨の降るあいにくの天候にもかかわらず、大勢の親子連れでにぎわった。また、府主催の低公害車フェアでは、ガソリン車と比べて排気ガスや二酸化炭素の排出量が少ないとされるハイブリッド自動車や電気自動車、天然ガス自動車が展示された。

《環境》環境の大切さを学んでもらう丹後自然体験学校「ピオトープ倶楽部」の本年度1回目の活動が4日、京都府京丹後市弥栄町鳥取の府農業公園「丹後あじわいの郷」で行われた。参加者は園内で昆虫採集をして自然の多様性を感じていた。

4年前に始まった同倶楽部は、小中学生とその家族を対象に生物観察や農業体験などを行っている。同公園が主催している。5日は園内で古代米の田植えを行う。

この日、親子連れら参加者はピオトープ(動植物の生息空間)について学習、捕獲網を手に園内のピオトープを散策した。子どもらは、コメツキムシやアゲハチョウなど数10種の昆虫を捕まえ、講師の指導を受けながら標本にしたりしていた。

かんきょう再生ニュース



この情報はインターネットより、資料として収集致しました。各々マスコミ各社の著作権が有ります。大量に印刷する等は、ご連絡願います。誌友会等の環境問題に関する参考となれば幸いです。



《東京第一教区》<http://homepage3.nifty.com/soukaika-tokyo/>《教育110番》<http://tokyo.cool.ne.jp/nisankatanso/saku.htm> |
《父親教室/お父さん頑張って》<http://homepage2.nifty.com/6789/index.htm> |

相愛会環境問題編集部

平成17年6月8日発行 第003號

《エネ》リチウム電源技術を使用した乗用車やV o I P 製品開発・販売大手の米ハイブリッド・テクノロジーズ(OTCBB:HYBT)は、同社傘下のR・エレクトリック・カー、グローバル・ハイブリッド、ソリアム・パワー、ホイッスラテルの各社と共同で、「ハイブリッド・リビング・ホーム」の建設に着手したと発表した。「ハイブリッド・リビング・ホーム」は、太陽光や風力により発電した電力をリチウム電池に蓄電し、ハイテクで環境に優しい生活環境に必要な電力のすべてを賄う、新しいライフスタイルのモデルハウスで、化石燃料は一切使用しない。報道関係者への完成披露は来月28日の予定で、北米チャレンジ・ソーラー・カーレースがカナダ・アルバータ州カルガリーでゴールインするの同日の公開となる。(時事通信) -6月7日

《環境》地域の海浜清掃活動や環境教育に取り組んでいるNPO法人「沖縄海と渚保全会」(読谷村)が地域環境保全功労者として環境大臣賞を受賞し6日、都内のホテルで表彰された。保全会は1996年に発足し、これまで読谷村内の海岸を中心に120回以上の清掃活動を展開。小・中・高校で出張環境教室を開いたほか、教育用のCDROMを作成し、530校に無料配布した地道な活動が評価された。保全会のメンバーは現在、約230人で、うち3割が小中学生、家族ぐるみの参加も多いという。毎月1回の定例会のほか、企業のボランティアと共催で清掃活動を展開することもある。学校の環境教室では海岸に放置され、散乱するごみの

現状をデータで示し、子どもたちに環境保全の大切さを伝えている。(琉球新報) -6月7日

《エネ》谷垣財務相は10日からロンドンで開かれるサミット財務相会合(G8)では各国と中国など新興4カ国が集う11日の朝食会では、グローバル化を象徴する国々を交え、「忌憚ない意見交換をするのは大事なことだ」と述べた。中国との関係では、「人民元の問題であるとか、中国経済は好調だが全体としてスムーズな発展にあるのかどうか、ということが議論になる可能性が高い」との見通しを示した。

G8財務相会合では原油の増産要請をするのかとの質問に対し、「世界経済に与える影響を注視していかなくてはならないが、今まで積み重ねてきた議論と変わるもの、今度議論してこれが決め手だというものがあるわけではない」と指摘。

そのうえで、「生産国側の問題や消費国側のエネルギーの効率的な使用、マーケットの透明性といった問題が今まで議論されてきたが、そういうことを一つ一つ積み重ねるとのことだ」と語った。(ロイター) -6月7日

《エネ》大阪ガスエネルギー技術研究所は堀場製作所と共同で、バイオガス中のシロキサン濃度をリアルタイムで計測できる装置を開発した。バイオガスエンジンのトラブル源となるシロキサン化合物濃度をppmオーダーで分析できる。リアルタイムで計測可能な装置はこれまでなく、バイオガス燃料によるコージェネレーション(熱電併給)システムの普及促進につなげる

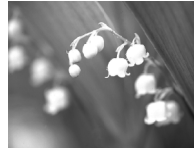
のが狙い。装置は可搬型。コージェネシステムに使用するバイオガスエンジンに容易に設置でき、シロキサン濃度を連続分析できる。

《エネ》中央省庁で始まった夏の軽装化、いわゆる「クールビズ」を全国の自治体や企業にいう「ネクタイ族」の10%強が実行した場合、1008億円の生産波及効果があるとの試算を、第一生命経済研究所がまとめた。名目国内総生産(GDP)で637億円の押し上げ効果が見込まれるという。省エネルギー活動の一環であるクールビズの普及に政府は熱心で、小泉純一郎首相をはじめとする閣僚が、こぞってノーネクタイで閣議や執務に臨んでいる。(日刊工業新聞) -6月6日

《エネ》中国政府のエネルギー関連シンクタンクである能源研究所の戴彦徳副所長は、中国は国内エネルギー需要の急増に伴い、段階的に緊急用原油備蓄を行う方針だと明らかにした。米国に次ぐ世界第2位の原油消費国である中国は今年、戦略的原油備蓄の拡大を開始すると予想されており、市場関係者はこれが国際原油価格をさらに押し上げる要因になると考えている。中国は東岸部の都市、寧波でのタンクに8月から緊急用原油備蓄を開始することが可能で、いずれ1億5000万バレルの備蓄能力を備える予定。当初の目標は20日分の貯蔵を目指している。(ロイター) -6月6日

環境問題はグローバルな視点から、身近な問題まで緻密に関連して居ます。身近な所から取組もう。先ず足元から浄化を。

かんきょう再生ニュース



この情報はインターネットより、資料として収集致しました。各々マスコミ各社の著作権が有ります。大量に印刷する等は、ご連絡願います。誌友会等の環境問題に関する参考となれば幸いです。



《東京第一教区》 <http://homepage3.nifty.com/soukaika-tokyo/> 《教育110番》 <http://tokyo.cool.ne.jp/nisankatanso/saku.html>
《父親教室 お父さん頑張って》 <http://homepage2.nifty.com/6789/index.html>

相愛会環境問題編集部

平成17年6月11日発行 第004号

《エネ》7月に英グレンイーグルズで開かれる主要国首脳会議（サミット）で、日米欧の8カ国は主要議題の地球温暖化対策について、国際エネルギー機関（IEA）との連携を表明する方向で最終調整に入った。政府筋が8日明らかにした。先進国が保有する省エネ技術の温暖化防止効果などをIEAが分析し、発展途上国への普及を目指す。（時事通信）6月8日2時2分

《エネ》米政府が発行する地球温暖化関係の研究報告に、石油業界出身のホワイトハウス当局者が事前に度々手を加え、温暖化が温室効果ガスの影響によるかどうかは不確かだと強調する内容に修正していたと、8日付の米紙ニューヨーク・タイムズが報じた。

同紙は科学への「政治介入」として批判する声や、ブッシュ政権と関係が深いとされるエネルギー業界の影響を指摘する見方を紹介。だがホワイトハウスは「報告は現時点で最善の科学に基づく」とし、恣意（しい）的な修正はなかったと強調した（共同通信）-6月9日10時29分

《エネ》トクヤマは8日、徳山製造所（周南市）中央発電所の発電用7号ボイラの更新に併せて燃料をアスファルト（特C重油）から石炭に転換すると発表した。安価な石炭への燃料転換と管理コストの低減によって年間20億円の合理化が図れるという。12月に着工、07年10月の完成予定で、総投資額は約100億円を予定している。

これにより中央発電所の4基のボイラすべてで燃料転換が完了する。新ボイラは従来の石炭ボイラで使用されている微粉炭の他、より安価な石炭の燃焼が可能な循環流動層という燃焼方式を採用する。将来は廃タイヤやバイオマスも利用するという。

《エネ》三井造船とダイハツディーゼルは06年に、業界最大クラスの9000キロワットガスエンジンを投入する。1000キロワット級を共同開発した経験を生かし、最高レベルの発電効率46%を見込む。三井造船とダイハツディーゼルは、さらに大型化することで差別化する。ガスエンジンは発電効率が高く排ガスがクリーンなのが特徴。自家発電ニーズや電力自由化などを受け導入が広がっている。三井造とダイハツは、1000キロワット級で高効率希薄燃焼サイクル、高精度ロッキング制御、独自の排気エネルギー動力回収システムなどを共同開発。

《環境》アジアにしか生息しない希少な渡り鳥で絶滅が心配されているクロツラヘラサギが、今年は日本などで計1475羽確認され、1993年の調査開始以来最多を記録した。国際保護団体バードライフインターナショナル（本部・英国）が10日、発表した。この鳥はトキ科に属し、体長75センチ前後。黒い顔とへら状のくちばしから、この名がある。朝鮮半島で繁殖し、台湾や香港のほか日本の九州や沖縄、ベトナムなどで越冬する。日本の環境省は「ごく近い将来に絶滅の危険性が極め

<http://tokyo.cool.ne.jp/nisankatanso/saku.html>

教育110番
百戦錬磨！鎌先生のサイト！

て高い種」に指定している。
（共同通信）-6月11日10時8分

《環境》昨年秋の台風23号で被災した兵庫県豊岡市の出石川で、国の特別天然記念物・オオサンショウウオが大量に見つかっている。台風の影響で下流に流されたとみられ、川を管理する県は、これまでに発見した約250匹に個体識別用のマイクロチップを埋め込んだ。住民からの目撃情報を受け、県豊岡土木事務所が4月、本来は標高の高い上流域で目撃されるオオサンショウウオが、約20キロ下流の流域で川をさかのぼろうとしているのを確認した。

県は台風で損傷した同川上流域の護岸修復工事を計画。工事期間中は河川の環境悪化が予想されることから、産卵期を迎える秋までに文化庁の許可を得てオオサンショウウオを捕獲し、仮設の飼育池などに避難させることを決めた。

（共同通信）6月11日

地域で環境浄化の運動を一人から押し進めましょう。綺麗な郷土東京を取り戻しましょう。地域の皆様との接点が生まれまです。生長の家東京第一教区では地元の光明化運動の一環として、環境浄化と限り有るエネルギーを節約、リサイクル等を推進致して居ります。

8/17 宝蔵神社盂蘭盆供養大祭

9/25 相愛会教区大会（千代田区公会堂）

<http://homepage2.nifty.com/6789/kyo.01.html>

父親教室
お父さんがんばって！

教区大会9/25(日)千代田区公会堂へ行こう!!

